

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成25年度 高松市安全で安心なまちづくり推進協議会
開 催 日 時	平成25年10月11日（金） 14時～15時40分
開 催 場 所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 犯罪情勢と香川県警察本部の取組について (2) 高松市における防犯対策の推進について (3) 平成24年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業報告について (4) 高松市安全で安心なまちづくり支援事業計画について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	11人 滝川委員（会長）、赤松委員、上田委員、大河内委員、小野委員、葛西委員、岸上委員、千崎委員、戸城委員、森委員、山地委員
傍 聴 者	0人（定員 若干名）
担 当 課 お よ び 連 絡 先	地域政策課 地域振興係（TEL 839-2277）

協議経過および協議結果
<p>※議題(1)犯罪情勢と香川県警察本部の取組についての報告のため、香川県警察本部生活安全企画課管理官が出席。</p> <p>(1) 犯罪情勢と香川県警察本部の取組について（警察本部報告）</p> <p>報告内容</p> <p>1 犯罪情勢 刑法犯や街頭犯罪の認知件数が減少傾向にある一方、声かけ・つきまといは増加傾向 特殊詐欺・万引き防止、鍵かけの徹底</p> <p>2 香川県警察セーフティプロジェクトの推進</p> <p>3 具体的推進状況</p> <p>(1) 防犯環境の整備 ア 防犯カメラ付き緊急警報装置設置 イ 青色防犯パトロール活動支援</p> <p>(2) 安全・安心ヨイチメール、各種広報媒体を活用した情報発信</p> <p>(3) 個別防犯対策の推進 ア 万引き防止対策 イ 振り込め詐欺等の特殊詐欺対策 ウ 性犯罪対策</p>

(4) 少年非行防止対策

質問等

(委員)

- ・各地域で万引き防止等の講習を行いたいとき、わかりやすい窓口を設けてほしい。

(県警)

- ・年度初め、コミュニティセンター等の事務局を訪れ、その年の被害状況に応じた講習のPRを行っているが、その場を各地域からも教えてほしい。

(委員)

- ・市以外で作成した冊子をコミュニティセンターに配置してはどうか。
- ・出前講座の一覧を市で作成してはどうか。

(事務局)

- ・県警等と連絡を取り合い、検討してまいりたい。

(2) 高松市における防犯対策の推進について（事務局報告）

報告内容

1 青色防犯活動事業

- (1) 目的
- (2) 本市の施策
- (3) コミュニティ協議会の取組状況
- (4) コミュニティ協議会の取組内容
- (5) 今後の課題

2 防犯灯のLED化

- (1) 目的
- (2) LED化の方策
- (3) LED灯のメリット
- (4) 今後の課題

質問等

(委員)

- ・包括外部監査で、市は主体的な事業を行っていないという指摘があったが、具体的な指摘内容と、それに対する対応を教えてほしい。

(事務局)

- ・「条例・規則を作成し、市で表明しておきながら、書いてある内容に対しての活動が不十分」という指摘があった。
- ・防犯灯や青パトの助成は行っているが、更なる主体性を求められたため、現在行っている助成を今後も続けていく。

(委員)

- ・自動車学校での教え方を公安委員会等で指導するべきではないか。
- ・歩道上の不要なものは除くべきではないか。
- ・他の部署と連携をとって、市自身の横割り体勢を整えてほしい。期限や目標を決め、必ず結果を分析し、不要なことはやめてしまうべきである。

(3) 平成24年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業報告について（事務局報告）

報告内容

- 1 防犯セミナーの開催
- 2 地域における防犯活動への助成
 - (1) 安全・安心活動基盤整備事業補助金
 - (2) 安全・安心まちづくり推進事業補助金
 - (3) 安全・安心防犯環境整備事業補助金
- 3 防犯灯の新設等への助成
- 4 防犯協会等への助成等

質問等

（委員）

- ・市は、事業の立ち上げを目的として10万円の補助を行っているが、運営や活動に対する補助は行っていない。もっと地域の実情に応じた補助制度にしてほしい。

（事務局）

- ・市の青パト補助は、まず「各地域での活動の立ち上げ（きっかけ）をつくる」という趣旨であり、地域で進行度合いも異なるため、継続費については、現状をみながら検討してまいりたい。

（委員）

- ・各地域で運営方法は違うため、同じ事業をしても効果は地域で異なる。各地域で特色あるまちづくりを行っているため、ある程度の線までいくには、まだ何年かはかかると思う。
- ・条例上の基本理念を具現化していくための市の施策として何が必要かは、市民側からどんどん提案していくことが重要ではないかと思う。
- ・本協議会は今ごろの開催ではなく、議題の内容から考えても、5・6月に開催することはできないのか。

（事務局）

- ・来年度からは年度初めに開催するよう考えている。

（委員）

- ・香川県くらしの見守り隊は、香川県事業として4年間活動し、25年度からは、香川くらしの見守り隊として、他団体と連携をとりながら、婦人会主導で活動している。赤いジャンパーをみかけたら応援してほしい。また、市でも補助を検討してほしい。

（事務局）

- ・県に過去の経緯を聞いた上で検討してまいりたい。

（委員）

- ・オレオレ詐欺の罰則はどうなっているか。

（県警）

- ・刑法に基づいて検挙されるが、大元まではなかなか辿りつけていない。

(4) 高松市安全で安心なまちづくりの支援事業計画について（事務局報告）

報告内容

- 1 防犯セミナーの開催

2 地域における防犯活動への助成

- (1) 安全・安心活動基盤整備事業補助金
- (2) 安全・安心まちづくり推進事業補助金
- (3) 安全・安心防犯環境整備事業補助金

3 防犯灯のLED化等への助成

4 防犯協会等への助成等

質問等

特になし。